

1. 方向性・コンセプト

伊予市らしさとは？	・図書館を創造の場として捉えると、伊予市のアイデンティティーを掘り起こしていくに必要な場として欲しい。 ・図書館づくりにまちづくりにも、これというコンセプトを決める必要がある。本庁地区の「うり」、看板が必要。 ・伊予市らしい図書館に。 ・市外から来た方が気楽に立ち寄ることができる伊予市の応接室に！図書館の職員やボランティアが市内を案内できる「いよコンシェルジュ」になろう！
主たる対象	・読書家向けか、一見の客となるか？ ・図書館は一読者の為か、集客の為か？リピーターとして。
図書館の位置づけ	・サードプレイス(居場所)のコンセプトを大切にしたい。本と縁がなかった人が気楽にやっこられる図書館づくりが必要(第6回)

2. 事業

蔵書	・現在の図書館には乳幼児用の絵本が少ない為、増やしてほしい。 ・新刊書、ベストセラー本を多く置いて貰って、早く読めるようにして欲しい。 ・蔵書の選択については近隣の図書館を調査し、伊予市らしい特徴ある蔵書としたい。 ・雑誌(歴史書等)、政府、自治体発行の刊行物(白書等)を望みます。 ・貸し出し禁止図書が多いように思います(何か工夫を！) ・書籍毎の回転率を測定すること。一人か二人しか読まない本は購入するな。 ・マンガ本もあると良い。アニメも。小説も欲しい。 ・こども図書館があるなら、お年寄りのコーナーがあってもいいのでは？(第6回) ・歴史や地理など、勉強に役立つ本をすみっこに置いたらいいと思う。(第6回) ・その学年向けの本のたなをきめておいて、さがしやすいようにすればいいと思う。(第6回) ・進げきの巨人のマンガを読みたい。(郡中小)
映像資料	・ビデオはNHKで放送されたものを貸し出し願う。 ・レンタルDVDを多くして欲しい。 ・電磁的資料の貸与については慎重に検討してほしい。見掛けは良くても情報が欠損している場合の対応が困難(第6回) ・紙媒体にとどまらず、映像資料の提供を。(第5回)
催し	・文化財の展示について、小規模でも良いから頻度を短くしてもらいたい。 ・対面朗読があると視覚障害者の方々に便利。 ・読み聞かせ、朗読会等のイベントを考えてほしい。 ・古文書の読み方教室など、年齢層を低くして教えて欲しいです。 ・読書友の会を運営せよ(現在、ダンテの「神曲」の読書会があるのは知っている)。 ・図書館利用者同士の交流を図る。調べ学習の時、その道の知識ある先輩の意見を聞く機会もつくってほしい!! ・テーマ展示コーナーやもったいない本の辺りに、子ども達に分かりやすい形で歴史アーカイブを展示(第6回) ・こども図書館には小さな子どもでもあそべるように、おもちゃをおいたらいい。週に1回ほど、よみきかせをしたらいいと思います。(第6回)
機能	・ヤングアダルトコーナー ・まちの団体、グループの活動の情報提供、交流コーナー。掲示板をつくろう。 ・歴史資料、文化財などの地域情報、映像のデータ収集、記録保存、情報発信コーナー。 ・市民の所有する本を寄贈してもらおうコーナーを設けよ。話題の本は多くの人が買っている。 ・返却は郡中駅とか伊予市駅に返却ボックスを設置する。 ・学生にとって実際、一番役に立っているのは机と静かな空間であり、蔵書は二の次(自分の持っている本で間に合っている)。本を購入するのは高くつくが、机と空間は初期投資のみでほぼ代々使える。 ・コンピューターの設置を増やす(館内でのiPadの貸出サービスを行う) ・伊予市の資料を分かりやすく展示すること。映像を使って提示する方法を。(第5回) ・図書館の本は建物全体で持ち出せないか。返却は入口、出口で。(第5回) ・聴覚障がい、視覚障がい者に対する図書の提供コーナーを設けること。(第5回)
サービス	・県内蔵書貸出サービスは必須！ ・幼児へのブックスタートセットの貸し出しサービスを行う。 ・コピーサービスの便宜をよく。 ・貸し出し状況や本の場所などをデジタルデータ化し管理する。 ・TCT、インターネットの活用(国会図書館、大学、図書館ネットワーク) ・ウェブ環境、印刷、製作、ワークステーションなどの充実が望まれる。(第5回) ・ビジネス支援機能のある図書館にしたい。(第6回)
他施設との連携	・図書館サービス。中山、双海との関連を工夫してほしい。 ・まちを使って図書館に。施設図書館との連携→アプリで連携、案内。 ・老人、子ども、福祉、教育施設へ、図書が出ていくシステムはできないか。 ・伊予市らしい図書館。歴史、文化の研究コーナーを充実させ、ホール、公民館の活動と関連性を持つように。 ・展示コーナーは定期的に内容を変える(変化が必要) ・双海、中山でも借りやすいように…、どう連携？ ・携帯やスマートフォンの館内利用禁止。 ・「まちじゅう図書館」のネットワークづくり。学校、児童館、地域(双海、中山、旧伊予)。

3.利用時間・休館日

利用時間	・開館時間を19時とか20時とか、長くしてほしい。 ・図書館の夜間利用。週1～2回、夜間の利用は望めないか。 ・利用時間を考えて欲しい。公務員にはしないで！ ・夜9時頃まで利用できる図書館が理想。 ・夜間利用ができるようにする。すくなくとも22:00位まで。 ・貸し出し、返却がスムーズにできるシステムを!!夜間返却OKにして。 ・貸出時間が長い分類も増やして欲しい。 ・PM6時まで、利用時間を延長してはどうだろう。 ・毎日開館してほしい(開館時間も長く)。 ・夜の8時ぐらいまで開いているといい(郡中小)
休館日	・休館日も必要。 ・休館日数を少なく。 ・図書館が祝日に閉まっているのはさびしい。 ・開館時間、開館日など、利用されやすい運営。 ・開館日の増えと、時間の延長を考えて欲しい。 ・夏時間、冬時間、又休館日をなくして欲しい。 ・より開かれた図書館へ。

4. 図書館の利用規則(飲食関連を中心として) ※ゴシック体はすべて第6回ワークショップアンケート意見

図書館内 飲食賛成	・ 飲食必ずOK ・ 主婦と子どもがおやつやランチを持ち込み、パイ、ケーキ、料理のレシピの話題が広がるのはgood！ ・ 飲食OKでいいのでは？ ・ 飲食はOKでいいと思う。よごれないように注意などすれば。 ・ 図書館は日常的活用メイン施設であるため、勉強とコミュニティの場でもあり、飲食は可とすれば。 ・ 自由な雰囲気図書館にしたいので、認めるべきである。 ・ 飲食ははしていいようにしたいと思います。図書館、文化ホール、郡中地区公民館にきた人が、もったのしめたほうがいいと思うからです。 ・ 子ども連れで来た時、食べられる場所がないと利用しにくいです。 ・ 図書館は市民にとって第3の空間ということで、お話をし、食べて飲む空間は必要と思う。 ・ のどがかわいたときに、お茶などをのめないとなると、飲食できないのはやめといった方がいいと思う。
図書館内 飲食 条件付き	・ 飲食できる部屋とできない部屋をみんなで決めるとよい。お弁当などを食べる場所がほしい。小・中・高校生が休みの日、お弁当を持って読書したり勉強したりする時、昼食時間に気軽に昼食が取れる場所が欲しい。 ・ できる所とできない所を作る。 ・ スペースを決めてルール化すれば可能だと思います。全国事例を調査して、挑戦しましょう。 ・ 本を汚さない保証があれば賛成 ・ 世の中の流れとして飲食も、との希望があると考えます。しかし汚くすれば他の仕事が増える。そのようなことのないように運営してください。 ・ 良い。ただしルールを決める(後片付け)。スナック菓子、カップラーメンも食べれる。 ・ 飲料程度は良いが、食事は不可。学習の場であるから。 ・ 基本的にはいけない(特に閲覧室では)。お茶のみ可とする。 ・ 館内ではしない方がよいです。食べれるのは伊予カフェ前スペース等。こども図書館では軽食は必要。 ・ 伊予カフェなどエリアを区切れば、飲食は可としてよいと思う。ゴミの持ち帰りなど、ルールを徹底する必要があると思う。 ・ 飲食するのは、図書館内ではやめた方がいいと思います(小さい子どもが本を汚すといけないから。)。そのかわり、伊予カフェに本を用いていいようにしたいと思います(本をよごさないように呼びかけのポスターなどをはったらいと思います。) ・ 伊予カフェではいいといっているが、本を読むところではいけないと思う。 ・ 図書館内では食はできなくてもよい(施設内には飲食可能な場所があることが前提。)。また図書館内でもどこでもOKではなく、併設カフェ内のみなどのように限定する。
図書館内 飲食反対	・ 飲食専用の場所があったらいいと思う。伊予カフェがあるので、必要性はあまりないかもしれない。 ・ 閲覧室内での飲食は、図書を汚す恐れがあり望ましくない。書架から離れた所ならば、軽食は許されると思う。 ・ 図書館では本がよごれるので飲食は場所を限った方がよいと思う。ゴミ処理をどうするか考えることも必要。 ・ 館内の飲食は慎むべき。多くの図書があり、汚す心配があり。飲食は伊予カフェを利用すべきと思います。 ・ 館内での飲食はすべきでない。ロビーやカフェがあるではないか。 ・ 伊予カフェがあるので必要ないと思う。 ・ ペットボトルなどでもこぼして本を汚しそうな気がしますので、図書館内での飲食はNOの様です。 ・ 施設管理や資料保護からすると、少し力たいかもしれませんが、館内(図書館エリア)は飲食禁止がベターだと思います。 ・ やめておいた方がいい。本が汚れると思うから。とくに小さい子がいるからやめておいた方がいい。本が汚れると同時に、床なども汚れてしまうと思う。 ・ 食べ物だとやはり机の上にこぼれてしまう。次に使う人が気持ちが悪くなるのであまり…。 ・ あまり感心しない。 ・ 必要なし ・ 基本的には反対です。学習コーナーで熱中症予防のための水分補給くらいなら…。
伊予カフェ 図書持込 賛成	・ カフェスペースがあるのはいいと思う。調べ学習をチームでする人が、カップラーメンとか食せたら便利(マナーの徹底を。) ・ 大いにやるべし ・ 良い。とにかく足を運んでもらう。 ・ 持ち出しできるように。 ・ 持ち出しはできるようにしましょう。自由に飲食やおしゃべりができる、コミュニティカフェとして持ち込み可。簡単な調理ができるようにしたい。 ・ 基本的には良い。 ・ 良いのではないですか。 ・ した方がいい。この建物の特長に。 ・ いいと思う。 ・ 館内ならOKにしてほしいです。 ・ 自由な開放的なイメージとしての持ち出しができれば、図書館のスペースは拡大する。 ・ じっくり本を選びたい人もいると思うので、館内持ち出しをしてもいいと思います。 ・ 図書は伊予カフェの中に持っていてもいいようにしたいと思います。本をよごさないように呼びかけるポスターなどをはったら良いと思います。 ・ 伊予カフェだとそうじもすぐなので、もし何かを食べるのならば伊予カフェがいいと思います。 ・ 伊予カフェへの図書の持ち出しについては良いのではないのでしょうか。色々な事情で落ち着いて本が読めない方もいらっしゃるかと…。 ・ 伊予カフェへの関心が高いのは、コーヒーなどを飲みながらゆっくり本を読みたいというレベルのことだと思うので、可能になるといいなあ。
伊予カフェ 図書持込 条件付き	・ いよカフェへの本の持ち込みのある程度の決まりが必須、必要。 ・ 本が汚れないように、持ち出しする人に注意喚起する必要がある。コーヒーを飲みながら読書できる幸せを共有したい。 ・ 貸出した資料は、家庭でコーヒー等を飲みながら楽しむことを考えれば、伊予カフェへの持ち出しはOKではないかな。ただし汚した時は利用者が弁償すること！ ・ もったいない本コーナーから借りてきたらいいと思う。飲み物がこぼれてもOKな本か雑誌を置くとよいと思う。 ・ 管理がきちんとできるならかまわないと思う。 ・ 管理を充分行えば問題ないものと考えます。 ・ きちんと区切られていれば問題ないと思う。 ・ 本を汚さない保証がされれば賛成 ・ 紛失や汚染のおそれがないか。 ・ 飲み物、簡単な食事は専用トレイ、マットを用意し、本との接触を軽減する工夫 ・ カフェへの本持ち出しは、本の種類を限定した方がよいと思う。 ・ 持ち出せる図書を限定すればいい。 ・ 開架書籍は持ち出して閲覧することは可。閉架から取り出したものについては否 ・ 本は貸出処理をし、借り手の責任において大切に扱ってほしい。縁側モール、伊予カフェ、スタジオ、文化ホールでは、貸出処理した本を自由に読む方が良い。 ・ 伊予カフェをBDSの中にするのなら可能だと思うが、伊予カフェはホールやアトリエの利用者も使いやすいものにして欲しい。
伊予カフェ 図書持込 反対	・ 読む場所、飲食の場所ははっきり分けておくべきと思う。なのでカフェへの図書持ち出しはしない方が良い。 ・ 読書は不可 ・ いけないと思う。本をよごすため。 ・ 伊予カフェへの持ち出しは必要ないのでは。 ・ 汚す心配があるので反対。公共の場所ゆえに節度をもってやる必要がある。 ・ 必要なし
その他	・ 禁止は禁止。おしゃべり、飲食、スキップOK、ルーズな図書館。 ・ 絶対喫煙じゃないとダメ！！ ・ 図書館空間では私語は慎むことが約束事。マニュアルはつくるのか。

5.運営組織

民間活用	・ 民間の感覚で融通の利く運営を(学習スペース、BGM) ・ 図書館の運営は民間に任せるのが良い。オープン時間を自由に設定でき、必要な時、必要な人を雇用できる。公務員はこれに不適と思われる。
直営	・ 運営については市管理にして司書を置いて運営する。
専門性	・ 司書を職員として2〜3人は常時置いて欲しい。 ・ 専門の司書がいてもいいのでは。 ・ 図書館に博物館の機能を持たせるならば、専門家が必要。
一体的な運営	・ 2WAYルームやリハーサル室、公民館の部屋利用を柔軟に考えるには、施設を一つに運営しないと困るよ。 ・ 公民館、ホール、図書館の運営を1つにまとめて柔軟に対応する
その他	・ 言葉かけも配慮のできる職員を設定してほしい。 ・ 若い人の力が大である。 ・ レファレンスサービスのカウンターをどこに置きますか？(人的配置) ・ 民営？公営？サービスの向上

6.市民の関わり

市民参加	・ 専門職でなく、ボランティア的な人の雇用を望む。 ・ 運営に中高生を参加させる。 ・ 図書館のサポート、読み聞かせ隊を組織すること。(第5回)
------	---

7. その他

BGM	・ 他の市町村の図書館の優れている事の勉強をしっかり。 ・ 音楽を流してはどうか？(静かなBGM) ・ 図書館にBGMを流してもいいのでは？ ・ 音楽の流れる図書館は。
管理費の不安	・ 市の財政を考え、金のかからない運営を。
その他	・ 子ども図書館に「ミニクル」の機能を。親が兄弟を通わせてくる場合、下の子は遊びたい。 ・ 防犯大事!!過去に図書館で痴漢に遭った女子大生を知っている。 ・ 図書館とカフェを連携して運営する際に起こり得る問題の対処をどうするのか。 ・ 伊予市関連の本等を置いて、買える場所があれば良いと思う。(第5回)